

# 大樹寺

— 370年間守り受け継がれてきた眺望 —

大樹寺 2015年に四百回忌を迎える

徳川家康が、桶狭間の戦いで敗れ帰った場所が大樹寺である。ここで家康は、自害を決意するが、この寺の住職に説得され思いとどまったと伝えられている。



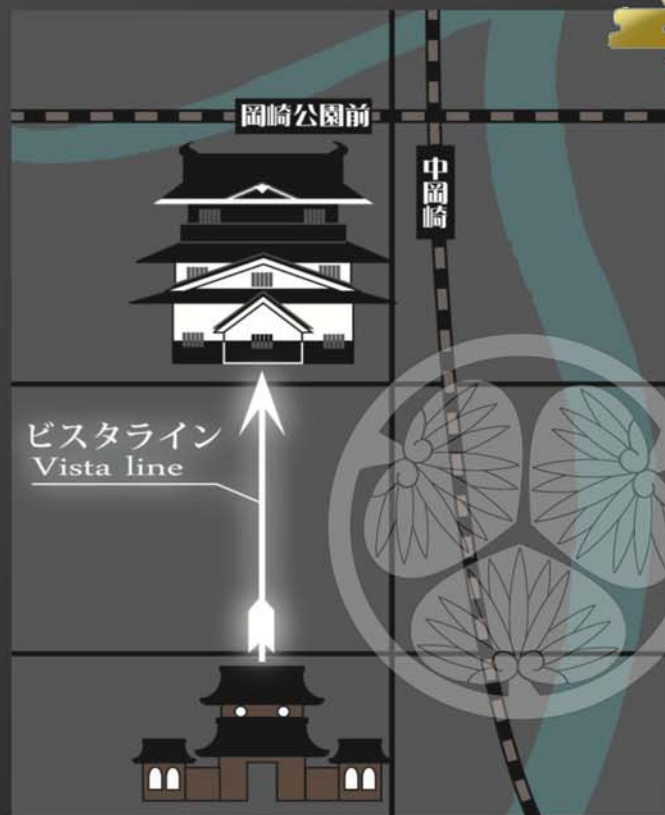
本堂から山門



多宝塔  
重要文化財



松平家と家康の墓石



**ビスタライン** 大樹寺と岡崎城を結ぶ約3 kmの線のことをビスタラインという。ビスタラインとは「眺望線」という意味で、その名の通り、大樹寺の山門と総門を通して岡崎城を眺めることができる。徳川家光が「祖父生誕の地を望めるように」と配置し、現代まで守られてきた。

大樹寺から岡崎城を眺める